

# 2021 活動報告書

人と社会を未来へつなぐ、白バラ



大山乳業農業協同組合

## ■ 基本理念

# あなたへ贈る 「白の一滴、心の一滴」 —酪農家の心を食卓へ—

大山乳業農業協同組合は、生産・処理・販売一貫体制の酪農専門農協として、公正で正直な行動により、組織・事業・経営の革新を図り、社会的役割と責任を果たすことを基本理念としています。純白の牛乳一滴一滴にまごころを含め、酪農家の心をそのままお届けします。

## ■ 組合概要

名 称 大山乳業農業協同組合  
代表者 代表理事組合長 小前 孝夫  
所在地 鳥取県東伯郡琴浦町保3 7-1  
設 立 昭和21年7月21日  
出資金 8億7,667万円  
取 扱 品 牛乳、成分調整牛乳、乳飲料、発酵乳、乳製品、  
アイスクリーム、菓子等

## ■ 大山乳業農業協同組合の「心」

大山乳業農業協同組合のシンボルマークは「白バラ」です。「白バラ」の花言葉には、正直・純粋・そして「あなたにふさわしい」という意味が込められており、「白バラ」のように純粋で純良な牛乳の生産を原点として、心のふれあいを大切に、これからも人々の健全な暮らしづくりのために貢献してまいります。



## 大山乳業農協が考える持続可能な社会づくり 白バラSDGs元年

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



大山乳業農協では今年度をSDGsに本格的に取り組む「SDGs元年」とし、現状の洗い出しを行い、SDGsが提唱する17の関連項目と組合の取り組みを照らし合わせることで私達が取り組むべき内容の把握を行いました。SDGsは見知らぬ誰かの為ではなく、共に働く仲間の為の行動でもある事を意識し、組合一丸となり酪農専門農協だからこそ取り組めるオンリーワンのSDGsの姿を模索していきます。

# 大山乳業農協 周年イヤーの取り組み ～創立80周年に向かって～

2021年度取り組み報告

令和3年7月21日、大山乳業農協は創立75周年を迎えました。記念事業では、記念ロゴの作成、直売所のリニューアル、記念商品、PR動画の制作などが行われました。

## 75周年記念ロゴの作成 組合内外で周年イヤーを伝える

創立75周年を記念して作成されたロゴは、組合員・職員から募集しました。

ロゴは、組合のホームページやテレビCM、名刺、記念商品などに使用し組合内外に向け幅広く創立75周年をPRしました。



## カウイーのみらく館リニューアル お客様がより来店したくなる店舗へ

リニューアルでは、店舗外壁塗装工事・店内レイアウトの変更、そして店舗の外にある芝生には、等身大のカウイーオブジェを設置し、お客様が「楽しく」買い物を楽しめるスペースに生まれ変わりました。



オブジェが設置されたカウイーのみらく館

## 記念ロゴをあしらった記念商品を販売 復刻パッケージの乳飲料はお客様に大好評

5月からは、パッケージに75周年記念ロゴを配した記念商品の発売が開始されました。

発売された商品はSNSでも注目を集めました。



6月発売  
白バラコーヒーチョコモナカ

6月発売  
白バラバナナオ・レ

## 鳥取県の酪農家の想いを形に 酪農家とお客様を繋ぐ動画が完成

創立75周年を記念し、酪農指導部と総合企画課が中心となり鳥取県の酪農PRする動画を制作しました。今回の動画には、日野町の小谷牧場の皆さんにご協力頂き、酪農家の日々のようすや酪農家の生活を映像作品として伝えています。



小谷牧場の皆さん



動画の主人公の小谷一起さん

## 記念誌、記念品の制作 地元のハンドバッグメーカーとコラボ

組合員、職員へ配布した記念誌は「想いをつなぐ」をテーマに創立70周年からの5年間をまとめました。また、記念品は地元のハンドバッグメーカーとコラボしたオリジナルエコバッグを制作しました。

75周年記念  
オリジナルエコバッグ▶



# 02

## 鳥取県の酪農を守る、繋ぐ、広める ～鳥取の生乳の良さを全国へ～

2021年度取り組み報告

大山乳業農協では「暑熱対策プロジェクトチーム」が結成され、牛の暑さ対策に取り組みました。また、中国地区良質生乳出荷者表彰では、ホルスタイン部門の最優秀賞を独占し、鳥取県の生乳の乳質の良さをPRすることができました。

### 牛たちの暑さ対策に 暑熱対策プロジェクトチーム発足

令和2年夏、鳥取県は36℃近い真夏日が続き、生乳の出荷乳量が激減。店頭から「白バラ牛乳」が姿を消す事態になりました。

このことを教訓に、令和3年5月、県関係機関（普及所、家畜保健衛生所、試験場）、共済組合、全酪連、大山乳業農協職員の総勢30名による「暑熱対策プロジェクトチーム」が結成されました。

プロジェクトチームは毎月「酪農だより」に暑熱対策事例の報告を掲載するなど情報発信を行い暑熱対策に取り組みました。



換気扇設置作業の様子



対策を施した牛舎



プロジェクトチーム報告会の様子

### 中国地区良質生乳出荷者表彰 ホルスタイン部門の最優秀賞独占

令和2年度より鳥取・島根・岡山・広島・山口で年間を通じて良質な生乳の出荷者を表彰する制度が開始されました。令和2年度の出荷者は528名で、6部門の表彰者は全員で26名となりました。

その中でもジャージー部門2名を除くホルスタイン部門で当組合生産者16名が受賞し、なかでも最優秀賞は学校部門を含めホルスタイン5部門を全て独占する結果となり、3部（年間出荷500t～1000t）では受賞者5名は全て当組合の組合員となりました。



受賞されたみなさん

### 酪農家の思いが込められた絵本第2弾 「ありがとう もーちゃん」が発売

6月1日「牛乳の日」にあわせ吉田牧場（大山町）の吉田裕美さんが手がけた絵本「ありがとう もーちゃん」が発売されました。

今回発売された絵本は、酪農家の日常や牛乳が消費者に届けられるまでが描かれており、多くの反響とともに酪農家の想いを伝えるきっかけとなりました。



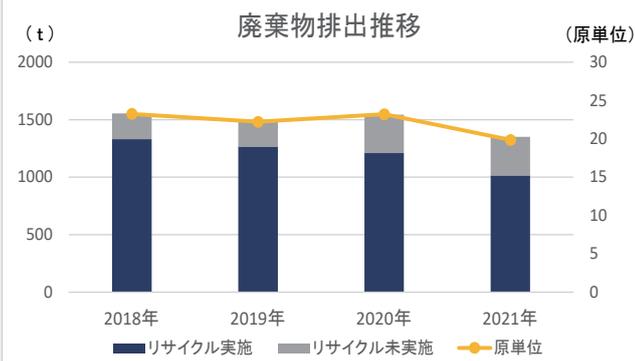
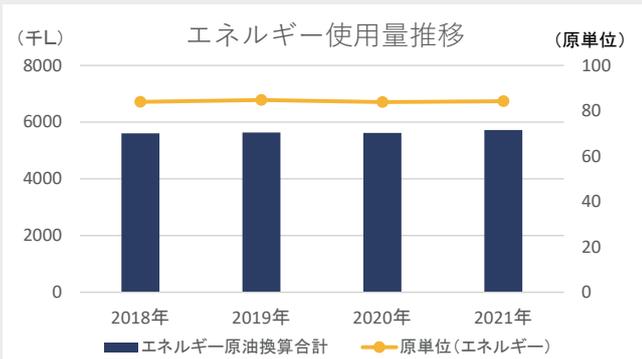
絵本の作者 吉田裕美さん（大山町:吉田牧場）

# 環境に関する取り組み ～省エネ・環境に配慮した製造へ～

2021年度取り組み報告

夏の猛暑、残暑などによる気候変動の影響により、エネルギーの使用は年々増加しています。省エネ機器などの導入により環境に配慮した製造へ取り組みます。

## エネルギー使用状況 廃棄物の排出状況



エネルギー使用量は、前年度561万Lに対し、今年度572万Lと大幅に増加しました。特に、夏期は例年より真夏日を観測する日が早く、また残暑も長く続いたことがエネルギー使用に大きく影響し、前年比100%を超える月が続きました。一方、冬期は省エネ機器の導入により使用量の削減が行われており、次年度以降も削減されていく見込みです。

廃棄物は排出量が前年比86.7%となり廃棄物の発生を低く抑えられています。要因としては、製造のミスやトラブルにより発生する廃棄製品が少なかったことがあげられます。また、種類別発生量も全体的に減少しているため、効率の良い製造でロスが低く抑えられたと考えられます。

## 省エネ機器の導入① 2号ボイラー更新及び運転監視システムの導入

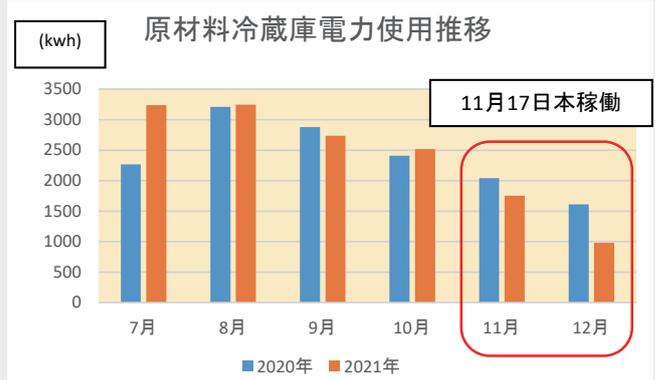
ボイラー室には6台のボイラーが配置されており、4月に更新目安の設置後10年以上を経過した2号ボイラーを更新しました。近年のボイラーは燃焼状態が蒸気使用量に追従できる機能が強く、設置後は燃料消費の少ない運転ができました。この更新工事により

全てのボイラーが効率良く運転でき、既設ボイラーと比較し運転効率が3%向上しました。あわせて各ボイラーの稼働状況、エネルギー使用量等を一括管理できるスコアシステムを導入し、データ管理が可能となりました。現在も高効率運転を目指し、データを基にした調整を継続しています。



## 省エネ機器の導入② 原材料冷蔵庫 (坂下) 冷凍機更新

第3冷凍庫横の原材料冷蔵庫 (坂下) で使用していた冷凍機について、年々増える経年劣化箇所を自主保全により対応しておりましたが、稼働年数も経過し今後の運用について検討している中、他社で使用を中止した冷凍機の譲渡提案があり、既設機より能力は小さいものの新品同様に現状の負荷でも使用可能と判断し、11月に更新しました。更新後の検証では安定した温度管理と省エネ運転ができました。



# 04 鳥取県から全国の白バラファンへ ～全国のお客様を笑顔に～

2021年度取り組み報告

コロナ禍2年目、お客様に白バラ製品の良さをどう伝えるか、お客様とどう繋がるかを模索し挑戦した1年でした。  
どんなときも全国のお客様を白バラ製品で笑顔に！

## コロナ禍2年目の牛乳月間は SNSを使いお客様と交流

2021年の牛乳月間も、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催される酪農青年部・女性部の知事訪問を中止し、少人数で平井知事のもとを訪れました。

また、今年はSNSを使った牛乳月間の普及にも積極的に取り組み「白バラ牛乳月間」と題し6月中に工場見学動画の公開やフォトコンテストなど6つのイベントや企画が開催されました。



牛乳月間知事訪問（鳥取県庁）

## 900ml瓶がデザインリニューアル ～お客様に親しまれるデザインへ～

今年度、長年製造している900ml瓶製品「特選大山おいしい牛乳」と「大山おいしいカフェオレ」がデザインを一新してリニューアル発売しました。リニューアルした2つの製品は店頭での存在感と手に取りやすく親しみを感じるデザインになっています。

コロナ禍で観光地での本格販売はこれからですが、大山乳業農協とお客様のご縁をつなぐ商品になることを期待しています。



リニューアルした瓶デザイン

## 地元学生との商品開発第5弾 白バラいちごシフォン発売

2017年からスタートした地元学生との6次産業商品開発は今年度、第5弾をむかえました。

今回は鳥取中央育英高校（東伯郡北栄町）との共同開発で地元北栄町のいちご「紅ほっぺ」を使用した「白バラいちごシフォン」が発売されました。

学生にとって貴重な経験になるだけでなく、地域も元気に、そして大山乳業農協の職員にとっても刺激を受ける取り組みに成長しています。



発売イベントのようす

## リモートでも大山乳業農協の魅力発信 キッズワークショップで首都圏の子どもにもPR

コロナ禍で対面でのコミュニケーションが難しくなり生協をはじめとした多くのイベントがリモートで開催されるようになりました。

大山乳業農協も積極的にリモートイベントに参加し、鳥取の酪農や白バラ牛乳、白バラ製品のおいしさをバターづくりの体験を通じて伝えました。

画面越しではありますが、沢山のお客様が笑顔になる取り組みに、手ごたえを感じた1年でした。



リモートイベントのようす

# 大山乳業農協の新規取り組み ～組合に新たな風を～

2021年度取り組み報告

大山乳業農協では、コロナ禍でも歩みを止めず新たな取り組みが推進されています。

また、新規施設、設備への投資も行われています。

## 業務効率化に取り組む デジタル推進課新設

コロナ禍で加速した「リモート」「オンライン」など、新しい働き方や業務効率化が求められる中で、組合全体のシステム新規開発や既存システムの改善など、業務のデジタル化を推進し効率化を行う」ことを目的に、4月から総合企画室に「デジタル推進課」が新設されました。

ITやデジタルの技術を活用した業務改善を通じ、効率よく業務を行う環境づくりを進めています。



ミーティングのようす

## 第2WEB商談会議室、ミーティングルーム等 リモート環境の整備を進める

コロナ禍が続く中、WEB商談の需要が一層高まったことを受け、一昨年に完成したWEB商談会議室に続き、令和3年度は第2WEB会議室と2つのミーティングルームが完成しました。

どちらもインターネット環境が整っており、リモート商談やWEBで開催されるセミナーなどの視聴に活用されています。



新設された第2WEB商談会議室

## 新規施設、設備が完成 バターカートニングマシン・ゲブル充填機

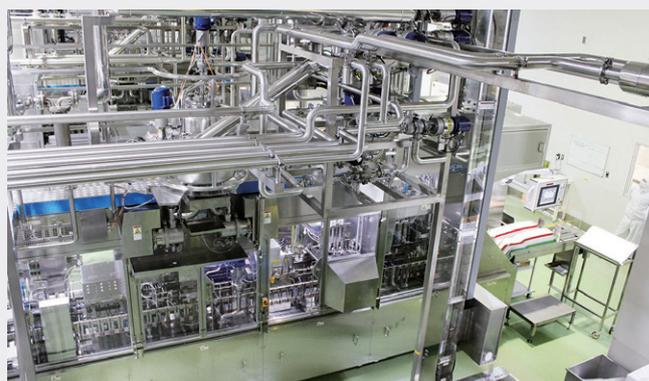
大山乳業農協製造部では、令和3年11月にバターカートニングマシン、12月に市乳ラインゲブル充填機の入替えが行われました。

市乳ラインゲブル充填機の入替えで、一昨年3月に新設された3号機同様にキャップ付き紙パックの製造が可能になりました。

また、その他にも物流課常温倉庫の新設、お客様用トイレの新設も行われています。



バターカートニングマシン



市乳ライン ゲブル充填機



来客用トイレ

# 地域と共に歩む企業であるために ～大山乳業が取り組む社会貢献～

大山乳業農協は、企業の社会的責任を果たすため、様々な形で社会貢献活動に取り組んでいます。

これからも地域に根差した企業でありつづけます。

2021年度取り組み報告

## 食で支える 社会貢献

大山乳業農協は、地域の「子ども食堂」への製品提供を行っています。



ほくほく食堂（北栄町）

## 行政・企業と支える 社会貢献

他企業と協力し社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



ホンデリング（北栄町ほくほくプラザ）



とっとり子どもの居場所ネットワークえんたく



フードドライブ（鳥取県生協）

## 環境を支える 社会貢献

大山乳業農協では毎年地元海岸の清掃活動を行っています。（清掃場所：八橋海岸）



## 組織を支える 社会貢献

県内で行われるイベントで協賛を行いました。  
（全国ろうあ青年研究討論会 in 鳥取 記念グッズ協賛）

